

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成26年7月10日 (2014.7.10)

【公表番号】特表2013-540188(P2013-540188A)

【公表日】平成25年10月31日 (2013.10.31)

【年通号数】公開・登録公報2013-060

【出願番号】特願2013-532902(P2013-532902)

【国際特許分類】

C 0 8 F 20/28 (2006.01)

G 0 2 C 7/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 20/28

G 0 2 C 7/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年5月20日 (2014.5.20)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 9 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 9 7 】

二つの末端反応性官能基、少なくとも二つのポリシロキサンセグメント及び隣接するポリシロキサンセグメントの対を結合する有機結合に結合した少なくとも一つのダングリング親水性ポリマー鎖を有する中間体連鎖延長ポリシロキサンポリマーを調製するためには、適当な二官能性ポリシロキサン類を使用することができる。ヒドロキシル基（-OH）、アミノ基（-NHR'）、カルボキシル基（-COOH）、エポキシ基、イソシアネート基、酸無水物及びそれらの組み合わせからなる群より選択される二つの末端官能基を有する様々なポリシロキサン類を商業的供給元（たとえばGelest, Inc.又はFluorochem）から得ることができる。そうでなければ、当業者は、当技術分野において公知であり、Journal of Polymer Science - Chemistry, 33, 1773 (1995)（参照により全体として本明細書に組み込まれる）に記載されている手順にしたがって、そのような二官能基で末端停止されたポリシロキサン類を調製する方法を知るのである。市販の二官能性ポリシロキサンの例は、非限定的に、ジエポキシプロポキシプロピルで末端停止されたポリシロキサン、ジヒドロキシエトキシプロピルで末端停止されたポリシロキサン、ジヒドロキシル（ポリエチレンオキシ）プロピルで末端停止されたポリシロキサン、ジカルボキシデシルで末端停止されたポリシロキサン、ジカルボキシプロピルで末端停止されたポリシロキサン、ジカプロラクトンで末端停止されたポリシロキサン、ジN-エチルアミノプロピルで末端停止されたポリシロキサン、ジアミノプロピルで末端停止されたポリシロキサン、ジコハク酸無水物で末端停止されたポリシロキサン及びそれらの組み合わせを含む。当業者は、ステップ（2）における二官能性ポリシロキサン及びカップリング反応条件を選択することをよく知るであろう。